

科目名 Course Name	子ども家庭福祉 Child and Family Welfare	ナンバリング No.	K4-004				
年次	2年	単位数	後期	授業形態	2	授業形態	講義
担当者氏名	加藤 茉奈美						
連絡方法	C-Learning で対応。または本館3階加藤研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(保育士養成課程必修)						
関連 DP	DP4, DP5						
授業の概要と到達目標	社会の変化は子どもとその家族のあり方を変容させ、子どもに関わる様々な問題を引き起こしている。子ども家庭福祉において最優先されるべき対象は子ども本人の福祉である。この授業では「児童の最善の利益」を確保するための支援、工夫、困難について学びを進め、それらを説明できるようにする。						
授業の方法	講義とディスカッションなどの参加型形式。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	「児童の最善の利益」について考え、その理念、対策と実際的な対応について説明できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	小テストを実施し、各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	「子ども家庭福祉」(新保幸男・小林理: 中央法規)						
履修上の留意点やルール等	●テキストを必ず持参する。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験	実務経験(職種:障がい者支援施設 生活支援員 職歴 13 年) 施設での多様な経験を活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度					
レポート/作品					
発表					
小テスト	単元ごとに小テストを実施する。S 評価は得点率 9 割以上。			75	
試験	正誤問題、説明問題を実施する。S 評価は得点率 9 割以上。			25	
その他					
合計				100	

回数		授業計画	
1	授業内容	子ども家庭福祉の理念と概念	・小テスト①
	事前・事後学習	教科書 P1～P13 を読み、要点をまとめる。	
2	授業内容	子ども家庭福祉の歴史的変遷と諸外国の動向	・小テスト②
	事前・事後学習	教科書 P15～P26 を読み、要点をまとめる。	
3	授業内容	子どもの人権擁護	・小テスト③
	事前・事後学習	教科書 P27～P38 を読み、要点をまとめる。	
4	授業内容	子ども家庭福祉の制度と実施体制	・小テスト④
	事前・事後学習	教科書 P39～P52 を読み、要点をまとめる。	
5	授業内容	子ども家庭福祉の施設と専門職	・小テスト⑤
	事前・事後学習	教科書 P53～P68 を読み、要点をまとめる。	
6	授業内容	少子化と地域子育て支援	・小テスト⑥
	事前・事後学習	教科書 P69～P82 を読み、要点をまとめる。	
7	授業内容	母子保健と子どもの健全育成	・小テスト⑦
	事前・事後学習	教科書 P83～P98 を読み、要点をまとめる。	
8	授業内容	多様な保育ニーズへの対応	・小テスト⑧
	事前・事後学習	教科書 P99～P110 を読み、要点をまとめる。	
9	授業内容	子ども虐待・ドメスティックバイオレンスとその防止	・小テスト⑨
	事前・事後学習	教科書 P111～P124 を読み、要点をまとめる。	
10	授業内容	貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応	・小テスト⑩
	事前・事後学習	教科書 P125～P140 を読み、要点をまとめる。	
11	授業内容	社会的養護	・小テスト⑪
	事前・事後学習	教科書 P141～P152 を読み、要点をまとめる。	
12	授業内容	障害のある子どもへの対応	・小テスト⑫
	事前・事後学習	教科書 P153～P168 を読み、要点をまとめる。	
13	授業内容	少年非行等への対応	・小テスト⑬
	事前・事後学習	教科書 P169～P180 を読み、要点をまとめる。	
14	授業内容	次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進	・小テスト⑭
	事前・事後学習	教科書 P181～192 を読み、要点をまとめる。	
15	授業内容	地域における連携・協働とネットワーク	・小テスト⑮
	事前・事後学習	教科書 P193～204 を読み、要点をまとめる。	